

障がい者雇用で農作業などの人材確保と地域経済の活性化

一般社団法人i・スマイル(今金町)



<トマトの管理作業>

【組織等の概要】

- 代表者:齊藤 忠
- 設立:2017年／会員:12名
- 主な作業請負先:町内の農業者と協力商工業者等
- 主な作業内容:トマト、しいたけの肥培管理、その他
- 連絡先TEL:0137-82-3601

◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 少子高齢化による人口減少に伴い、基幹産業である農業の担い手不足と人手不足に危機感を持った今金町商工会は、多様な人材が活躍できるビジネスモデルとして、今金高等養護学校の卒業生の中から、今金町在住希望者の通年雇用を促進。
- ◆これまで、今金高等養護学校の卒業生は、町内に就職等の受け皿が無かったため、町を離れる者が多かったが、地域内の農業等の働き手として雇用できないか、町、農協、農業者、商工業者、学校との視点で、実証実験に取り組み、農作業や観光サービスなどへの正社員雇用を実現しています。
- ◆町内商工業者有志12名により、ソーシャルタウン今金を目指して、平成29年3月「(社)i・スマイル」として設立しています。

【農福連携利用者の状況】

- ☆ i・スマイルが障がい者社員の農園までの送迎や、人材育成等のフォローアップを行い、作業依託者が安心して委託できている環境を作っている。
- ☆ 農作業について、ミニトマト生産者の伊藤司氏が今金高等養護学校生で今金町内に就職を希望している者を対象に農作業の現場体験を行っている。

【現在の作業内容】

- 4~10月はミニトマトや水稻苗等管理・収穫、11~3月はしいたけ管理栽培等。
- 年間を通じた町内観光案内・土産品・農産物の販売業務。

【取組の成果】

- ◆ 農業の担い手不足と人手不足に応えて、働き手の確保による、農業の活性化。
- ◆ 地元の今金高等養護学校卒業生が、就職によって町内にとどまり、多様な人材が活躍することで地域が活性化。
- ◆ 町内商工業者の協力により雇用シェアリングを進め、農閑期(11~3月)を含めた年間を通した障がい者の雇用を実現。
- ◆ 健常者と障がい者が共に活躍できるビジネスを育てる町として推進。
- ◆ 障がい者の雇用は毎年増えており、人口減少の抑制に寄与。



<トマトの管理作業>

【今後の展望】

- 特產品「今金男しゃく」の加工場を誘致し、加工作業請負を目指す。
- 農商工×観光×サービス×福祉(教育)の連携の実現から健常者と障がい者がともに活躍するソーシャルタウン今金を目指す。
- 収益事業を増やして株式会社化を目指す。